

理科センター便り

平成23年7月発行

発行者
久留米市理科教育センター
所長 原 淳二
久留米市東合川5丁目8番5号
(地場産業振興センター2F)
TEL 40-8124 FAX 44-0612

理科教育センター満50歳



久留米市理科教育センター
所長 原 淳二

久留米市は、くるめ学の副読本でも紹介されていますが、ブリヂストンの創業者：石橋正二郎氏、東芝製作所の基をつくられた：からくり儀右衛門こと田中久重氏、久留米餅を広く知らしめた：井上传氏など卓越した「ものづくり」の先人を輩出した街であります。

その久留米市にあって、「ものづくり」の心を継承する願いを込め、久留米市理科教育センターは、昭和36年に設立されました。そして、今年、満50歳の記念すべき誕生日でもあります。

理科教育センターの目的は、小学校を中心に、子どもたちの科学・理科学習に対する興味や関心を高め、理科教育における教員の指導力の向上及び理科教育の振興をめざし、「子どもたちの科学する心」を育てることです。

しかし、子どもたちの実態をみれば、6年生の県の学力実態調査での理科の点数は、期待正答率をかなり下回っています。

ところが、子どもたちに「理科の勉強は好きですか」と尋ねると、ほとんどの子どもたちから「実験が面白いから好き」と返ってきます。

この実態から見えてくる課題は、どうやら、子どもたちにあるのではなく、教える側、つまり我々教師の指導力にあることがわかります。

「理科は準備、後片付けが大変だ・観察記録がめんどろうだ」と、苦手意識も手伝って、理科教育を遠ざけてしまっていることが、「理科離れ」を生み出しているのかもしれない。

「ものづくり」の心を育む理科教育は、様々な学習経験や体験を通して、子どもたちに自らの興味・関心、能力や適性などについての認識を深め、徐々にキャリア意識を形成していく大切な教科でもあります。子どもの頃に探求したことや顕微鏡で覗いた世界の驚きが、将来の職業に結びつくということもあります。資源のない我が国では、やはり「ものづくり」の心を継承することは、とても大切なことと考えています。

今後とも、子どもたちが実感を伴った理科学習が展開できるよう、先生方への授業支援はもとより、最新の理科教育の情報提供等ができる理科教育センターをめざし、さらなる充実に努めて参りたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

久留米市理科教育センターについて

【理科教育センターってなあに？】

理科教育センターは、「子どもの科学する心」の育成をめざし、学校の理科授業を支援するために設置されています。

【具体的にどんなことをしているの？（支援）】

教員を対象に理科の授業についての研修会を企画・実施しています。

具体的には、先生方の理科指導力の向上に資するため、①授業研究会を年に2回、②実験実技講習会を年に1回実施しています。その他、子どもたちの科学・理科学習に対する興味や関心を高めるため、③「理科作品展」や④「サイエンスフェア」を実施しています。

【平成23年度の理科教育センターの組織】

上記の4つの事業をみんなで協働して取り組んでいます。



第1回理科教育センター委員会 (5月17日(火) 職業訓練センターにおいて)

まず、会に先立ち平成23年度の理科教育センター委員の任命が行われました。

そして、所長挨拶の後、今年度の4つの事業内容について、実験実技講習会については大善寺小学校の古賀先生から、授業研究会については大橋小学校の袋野先生から、理科作品展については竹野小学校の日野先生から、サイエンスフェアについては合川小学校の権藤先生から、目標と事業内容の概要についての説明がありました。



次に、理科基本操作と事故防止ということで、理科室、実験棟の環境整備については東国分小学校の関先生、薬品の取り扱いについては宮ノ陣小学校の納富先生、ガラス器具の取り扱いについては鳥飼小学校の古野先生、マッチ及びアルコールランプの取り扱いについては山川小学校の廣重先生から、それぞれ事故を未然に防ぐ観点から補足資料や体験談を交え、さらに実際に実験器具を使って説明をして頂きました。

第1回授業研究会 (6月29日(水) 教育センターにおいて)

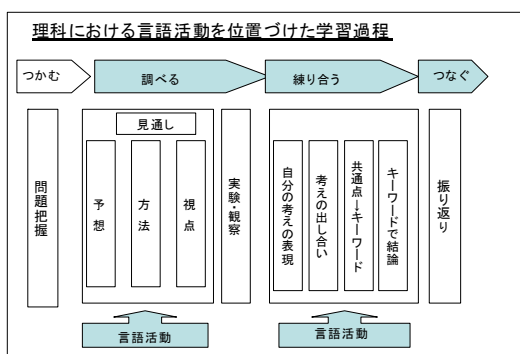


第1回授業研究会は、昨年度に引き続き模擬授業形式で行いました。授業者は、福岡教育大学附属久留米小学校の守浩一郎教諭で、4年生の単元「とじこめた空気や水」の学習でした。参加された先生方には、子どもの立場で授業に参加して頂き、言語活動を位置づけた学習過程に沿って理科学習を体験して頂きました。

模擬授業の後、協議会では「理科授業づくりのポイント」という題で守先生に

- ① きまりをとらえる単元構成
- ② 子どもが会う教材
- ③ 1時間の学習過程

という3つ内容で提案をして頂き、協議を致しました。



1 研修は満足できるものでしたか？



- ① 大変満足 42%
- ② 満足 53%
- ③ あまり 5%
- ④ 不満足 0%

2 研修内容について印象に残ったこと (上位3つを抜粋)

- ・教材開発の工夫
- ・授業ですぐに使いそう
- ・理科学習の方向性や授業づくりが参考になった

※ 授業研究会での指導案や協議会資料、実

験器具等、詳細については、授業研究会に参加された先生にお尋ねください。

今年度の事業計画

月	日	事業名及び内容	会場	参加対象者
8	23	実験・実技講習会 <u>実験実技講習① 中学年</u> 授業者 合川小学校 秋原正和 先生 3年「じしゃくのふしぎをしらべよう」 <u>学習指導用プラネタリウム見学</u> <u>実験実技講習② 高学年</u> 授業者 御井小学校 森山 亮 先生 6年「水溶液の性質」 <u>実験実技講習③ 全学年</u> 授業者 青少年科学館 内田亮一 先生 「授業やクラブ活動で活用できるおもしろ実験・工作」	県立 青少年科学館	理科教育センター委員及び希望者
9	10 ・ 11	第64回久留米市小学校理科作品展 サイエンスフェア	鳥飼小学校 体育館・多目的室	児童及び保護者
10	19	第2回授業研究会	未定	理科教育センター委員及び希望者

お知らせとお願い

① 理科教育センター備品の活用について（お願い）

理科教育センター備品の貸し出しを行っています。第1回理科教育センター委員会に配布した要項に貸し出しの方法やセンター備品について載せていますので、センター委員の先生にお尋ねください。センター備品の保管場所は理科教育センター協力校の鳥飼小学校です。

どうぞ活用してください。

② 夏休みの自由研究の指導について（お願い）

理科教育センターでは、多くの子どもたちに自由研究に取り組んでほしいと思っています。夏休みは自由研究に取り組みたいという意欲付けを行っていただくと共に、教科書の「自由研究」（3年～6年）を参考に子どもたちに自由研究のイメージを持たせてください。

③ 第2回授業研究会（お知らせ）

第2回の授業研究会も第1回と同様に模擬授業形式で行います。まだ、授業者や授業単元は決まっておりませんが、多くの先生方の参加をお待ちしています。

第2回 授業研究会 期日 10月19日（水）